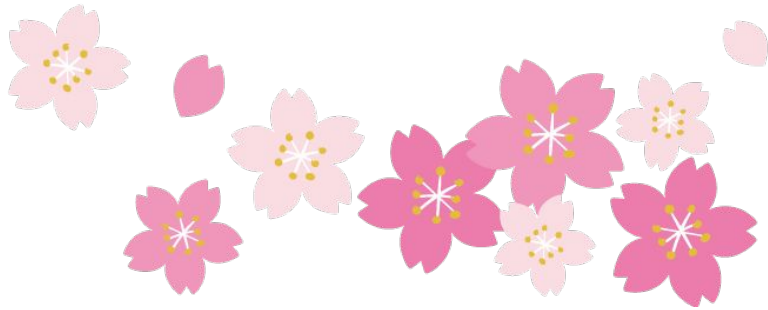


Dreamhop News Letter

2025.03



2月14日「FACE to FES '25」に参加しました



2月14日（金）に開催されたオフラインイベント「FACE to FES '25」（主催：株式会社カオナビ）にPCAグループとして参加しました。たくさんの人事担当者さまがブースを訪れてくださり、画面で実際のORIZINの機能をご体感いただきました。集団分析についてのご質問も多く、ますますメンタルヘルスクエアが経営において大きな位置を占めていることを感じた一日。ご来場いただいた皆さま、ありがとうございました。

3月20日は「国際幸福デー」。ウェルビーイングについて考える

3月20日は「国際幸福デー」（International Day of Happiness）です。2012年の国連総会で決議されたものです。「国民総幸福量」を目標としたブータンから提唱され、なんとブータンでは1970年代から人々の幸福に着目していたそうです。あらゆる国の政策だけでなく、民間企業でもウェルビーイングについての意識が高まってきています。組織内外のウェルビーイングについて、思いを馳せてみてください。



新年度の業績UPに、ウェルビーイング経営を学びなおす

従業員の健康コストと生産性

健康状態が悪化し、欠勤したり生産性が下がったりすること（アブセンプティズム/プレゼンチーズム）によるコストは、傷病手当金や従業員を含めた企業の健康関連のコストのうち**60〜70%以上**と書われています。

生産性の低下は、ひとりの社員だけに生じるものではありません。チーム内に生産性が低下した人がいれば、他の社員に業務負荷がかかる、士気が下がるなどの理由でチーム全体の生産性が低下します。そのため、社員の生産性は長い目で見れば大きな損失となるのです。

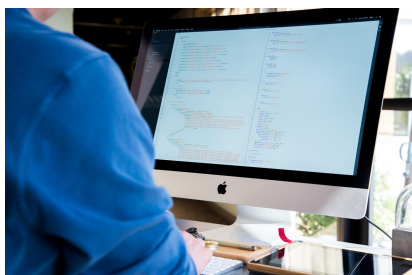
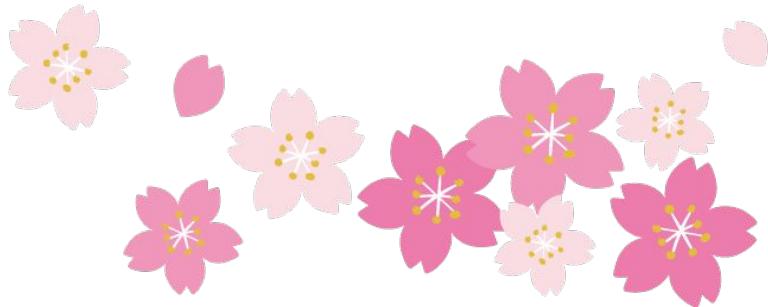


3月20日の「国際幸福デー」をきっかけにさまざまなところでウェルビーイングが見直されており、当社も「ウェルビーイング経営」の魅力と取り入れ方をお伝えしています。ウェルビーイング経営は「なんとなく良さそう」といった抽象的なイメージづくりだけでなく、実際に経営上のリスクを押し下げ、業績UPにつながります。お役立ち資料をぜひご覧ください。



Dreamhop News Letter

2025.03



 ORIZIN

IT導入補助金まもなく申請開始 ORIZINは対象ツールです

3月31日より、2025年度のIT導入補助金の申請が開始される予定です。2025年度、ストレスチェックツール「ORIZIN」は、IT導入補助金の対象ツールとなっております。これから導入される場合はぜひ補助金の活用をご検討ください。

補助金を活用される場合は申請が必要です。担当者までご相談いただきましたら、手続きについてご案内いたしますので、お早めに営業担当までお声掛けください。

IT導入補助金とストレスチェックツールについて、記事で解説しております。ツール導入をお悩みの方にお知らせください。



メンタルヘルスの取り組み、 評価指標には何がある？

新年度の計画を立てたり、1年間の取り組みを振り返ったりするにあたり、ウェルビーイング経営やメンタルヘルスに関する取り組みについて「評価指標がなくて困る」とのお声があります。

一人ひとりの心の健康状態は異なるため、直接的な評価が難しいと考えられていますが、高ストレス者の割合や離職率など、よくあるデータから取り組みの成果を推し量ることができます。

ポイントは「メンタルヘルスに関すること」に限定せず、経営全体のトピックとして捉えやすい指標を用いること。

ウェルビーイング経営を推し進めれば、経営状態にも良い兆しが見えてきます。記事で指標の例を挙げています。ぜひ数値で捉えてみてください。

